

第13回 I R推進会議

開 会 午後1時29分

○那須課長 皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから第13回 I R推進会議を開会いたします。

私は、司会進行を担当させていただきます大阪府・大阪市 I R推進局推進課長の那須でございます。よろしくお願いいたします。

本日でございますが、加賀委員、杉田委員、関委員、廣瀬委員がご欠席となっており、関委員の代理といたしまして、関西経済連合会産業部担当部長の徳田様、廣瀬委員の代理といたしまして、関西経済同友会企画調査部長の與口様にご出席をいただいております。

本日は、配付資料といたしまして、お手元に資料1から資料3、参考資料1をご用意しておりますので、ご確認をお願いします。

それでは、早速ですが議事に入りたいと存じます。

以降の進行は溝畑座長にお願いいたします。

○溝畑座長 皆さん、どうもこんにちは。それでは、議事に入らせていただきます。

まず、議題1の設置運営事業予定者の選定結果につきまして、事務局より説明をお願いします。

○那須課長 それでは、資料1の「大阪・夢洲地区 I R施設設置運営事業 設置運営事業予定者の選定結果」につきましてご説明をさせていただきます。

大阪府市では、2019年12月より事業者公募を開始いたしまして、この間、新型コロナウイルス感染症の影響等により、スケジュールを延長してきたところでございますが、本年7月に、MGM・オリックスコンソーシアムから提案書類の提出を受けまして、その後、有識者等から成ります I R事業者選定委員会におきまして、提案内容の審査を進めてまいりました。ちょうど1か月前になります9月28日に、選定委員会での審査の結果を踏まえまして、大阪府市として、MGM・オリックスコンソーシアムを設置運営事業予定者として選定したところでございます。

採点結果につきましては、資料に記載のとおり、1,000点満点中788.5点となっており、また選定委員会からは、「大阪・関西の経済成長のエンジンとなり、大阪の都市ブランドを国際競争力のある新たな次元に引き上げることをめざす非常に意欲的な提案」、また「大阪 I Rが、大阪・関西経済の成長や観光産業の底上げに寄与し、もって我が国全体の観光及び

経済振興の起爆となることを大いに期待」などの総評をいただいたところでございます。

なお、参考資料1といたしまして、IR事業者選定委員会からの審査講評を添付しておりますので、また後ほどご参照いただければと存じます。

私からの説明は以上でございます。

○溝畑座長 ただいま、設置運営事業予定者の選定結果について、事務局から報告がございましたが、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

<意見等なし>

ないようでしたら、この選定結果を踏まえまして、次の議案に入りたいと思います。

議題2の提案概要等につきまして、事務局より説明をお願いします。

○那須課長 それでは、まず資料2の事業者の「提案概要」につきましてご説明をさせていただきます。

まず、1ページ目の左上の「応募者」でございますが、応募者はMGM・オリックスコンソーシアム、構成員といたしましては、MGM、オリックス以外に関西企業などから構成されております。

次に、その下の「事業方針・コンセプト」でございますが、ビジョンといたしましては、新鮮な驚きや感動の体験（WOW）をもたらします「大阪・関西に、“WOW” Nextを。」とのビジョンが、また開発コンセプトといたしましては、「“結びの水都”」となっており、大阪IRがあらゆるものを結ぶ結節点となりながら、水都大阪の伝統・文化・精神を継承していくこととしております。

次に、右下の「事業効果」でございますが、初期投資額は約1兆800億円、年間来場者数は約2,050万人、年間売上は約5,400億円、雇用者数は約1万5,000人、納付金・入場料は年間約1,100億円となっております。

なお、経済波及効果につきましては、事業者からの提案を踏まえ、今後、精査の上、区域整備計画においてお示しする予定でございますが、提案ではIR基本構想で示している効果を上回るものとなっております。

次に、2ページの提案概要②をご覧ください。

左側の「施設概要」でございますが、まず国際会議場施設につきましては、1部屋当たりの最大会議室で6,000人以上を収容できる日本最大級の大規模な会議場、また、展示等施設は一体利用が可能で、スポーツイベント等も開催可能な2万㎡の展示ホールとなっております。

次に、その下の魅力増進施設といたしましては、伝統的な舞台芸術など日本の魅力を発信いたしますガーデンシアターや、伝統的な工芸文化の魅力に触れる機会を提供いたします関西ジャパンハウス、3つの芸道、華道・茶道・香道を体験できる三道体験スタジオなどの提案があったところでございます。

次に、その下の送客施設といたしましては、観光情報の発信や各地への旅行の手配などを行う関西ツーリズムセンターやバスターミナル、フェリーターミナルの整備など、また宿泊施設といたしましては、日本最大級の総客室数約2,500室を有する3つのホテル、そのほかには夢洲シアター等のエンターテインメント施設やカジノ施設などの提案があったところであり、全てを合わせて総延べ床面積が約77万㎡となっております。

次に、3ページの提案概要③をご覧ください。

各施設のコンセプトにつきまして、簡単にご説明をさせていただきます。

まず、左上の「MICE施設」につきましては、多様な催事に対応可能な世界最高水準のオールインワンMICE施設の整備や、MGM等のネットワークを活用したグローバルなセールス・プロモーション活動を行う提案、その下の「魅力増進施設」につきましては、先ほどご説明いたしました施設を活用して、日本の観光魅力を高め、世界に向けて発信していく提案、その下の「送客施設」につきましては、VRなど先進技術を活用したショーケース機能をはじめ、大阪最大級のバスターミナルや海上交通などにより、大阪・関西・日本全国の観光地への送客の実現をめざす提案となっております。

次に、右側の中ほどでございます「宿泊施設」につきましては、ファミリー向けからVIP向け最高級ホテルまで、グレードの異なる3つの宿泊施設を整備する提案となっております。

次に、4ページの提案概要④をご覧ください。

左上の「エンターテインメント施設」につきましては、ショー、パフォーマンス等の世界水準のエンターテインメントの集積や革新的なエンターテインメントの創出などにより、世界有数のエンターテインメント拠点の形成をめざす提案、またその下の「スマートなまちづくり」につきましては、先進的・持続的なスマートシティの実現や万博レガシーの継承をはじめ、世界で最もサステナブルなIRをめざす提案となっております。

次に、5ページの提案概要⑤をご覧ください。

まず、左上の「ギャンブル依存症対策」につきましては、カジノ施設の厳格な入場管理・利用制限措置など、MGMの知見・ノウハウを踏まえ、府市等と連携し、責任あるゲーミン

グの着実な実施を行う提案、その下の「治安・地域風俗環境対策」につきましては、強固な警備体制など、来訪者の安全・安心を守り、地域全体の安全確保に貢献を行う提案、右側の「危機管理・防災対策」や「感染症対策」につきましても、記載の提案があったところでございます。

次に、6ページの提案概要⑥をご覧ください。

左上の「地域経済の振興・地域社会への貢献」につきましては、中小企業・スタートアップ支援や地元産品の調達などに取り組むほか、その下の「再投資」といたしまして、成長型IRとしての持続的な発展をめざし、施設拡張やコンテンツ更新、有害影響排除などへの投資を継続的に実施していく提案があったところでございます。

次に、右下の「開業予定時期」でございますが、開業につきましては、2020年代後半を予定しており、今後、府市と事業者で調整を進めた上で、具体的な開業時期の想定は区域整備計画でお示ししたいと考えておりますが、いずれにいたしましても、府市とMGM・オリックスコンソーシアムで公民連携し、早期開業をめざして取り組んでいきたいと考えております。

なお、提案の具体的な内容につきましては、今後、府市と事業予定者で協議・調整の上、区域整備計画でお示ししていきたいと考えております。

次に、7ページの事業実現に向けた課題をご覧ください。

設置運営事業予定者によります事業の実施判断には、「新型コロナウイルス感染症の影響」、「国の詳細制度設計」、「夢洲特有の課題」など、現時点での不確定事項や各種課題の解決が必要不可欠であるとの認識が示されております。

まず、感染症の影響につきましては、現時点ではその収束が見通せる状況ではございませんが、IRはこれまでにない非常に大きな投資となりますので、今後、世界的な感染症の動向や観光需要の回復状況について、十分に確認した上で事業を進める必要がございます。

次に、国の詳細制度設計につきましては、現在、国におきまして、税制やカジノ管理委員会規則の運用など、IR制度の詳細設計が進められておりますが、事業の実施に当たりましては、IR制度が国際標準や国際競争力が確保されたものとなることが必須でございますので、適切な制度設計がなされるよう、府市として必要に応じて国に働きかけていきたいと考えております。

次に、夢洲特有の課題でございますが、埋立地であります夢洲では、土壌汚染や液状化等の土地に関わる課題が生じておりまして、IR事業用地としての適正を確保するため、土地

所有者として対応が必要でございます。

まず、土壌汚染につきましては、I Rの工事に伴い、汚染残土、汚泥が発生いたしますことから、発生土量、時期につきまして、夢洲内外での処分先等の検討が必要となってまいります。

また、液状化につきましては、I R区域内に液状化層が確認されております。I Rにつきましては、高層建築物を含む77万㎡に及ぶ建築物で構成され、毎年2,000万人を超える来場者が訪れる大規模集客施設として、長期にわたる高い安全性が必要であり、I R事業用途としての適正確保の観点から、十分な対策が必要となっております。

今後、提案内容を踏まえ、事業者とも協議しながら詳細を精査・整理の上、区域整備計画の公表時に、これらに対する対応策や概算費用等を一定お示しする予定としております。

府市といたしましても、MGM・オリックスコンソーシアムとの間で協議・調整を進めまして、今後、これらの課題の解決に向け、公民連携して取り組んでいきたいと考えております。

次に、資料3の「今後の予定について」をご覧ください。

今後、1月頃までに、事業者と共同して区域整備計画の作成や基本協定の締結などを進めますとともに、来年2月から3月頃に議会の同意を得て、4月頃に、国に区域整備計画の認定の申請を行う予定としております。

資料の下には、区域整備計画の記載事項をお示ししておりますが、今後、本日の推進会議での意見なども踏まえながら、事業者と共同して、計画の作成を進めていきたいと考えております。

私からの説明は以上でございます。

○溝畑座長 ありがとうございます。

ただいま、提案概要等、今後の予定につきましても説明がございました。

このことにつきまして、各委員からご意見や質問を賜りたいと思います。

それでは、順番に私から指名させていただきますが、まず池田委員からご意見、質問等いただきたいと思っております。

○池田委員 池田です。事務局の説明、承りました。

1社応募ではありましたが、非常に慎重な形で選定いただき、また、これから夢洲地区にこういう施設が具体的にできるということで非常にイメージが深まったところです。我々としてもSociety5.0を非常に強く意識していく必要があると思っております。そのために

は、新しい価値創造にこの施設が大きく貢献する、そういう方向を推進会議としても見守っていく必要があると思います。その意味では、我々は今、スタートラインに立ったと思っております。

ご案内のように、この施設に関しては様々な意見がありますし、中にはギャンブル等依存症を含めて非常に厳しい意見もございます。

私たちは、コロナ、パンデミックを体験しましたので、これからのビジネスモデルがおそらく相当変わってくるのではないかと考えています。

私自身、海外のカジノを、日本人のグループと一緒に見学したことがあるのですが、Society5.0からいくと、Society3.5ぐらいの感じの段階でした。そういう印象ですけども、やはりエネルギーというか、独特の光をぜいたくに使いながら、独特の空間でしたが、不思議と視察に行った日本人のグループでは、誰もあまりカジノにのめり込むという感じはなかったんですよ。

せっかく、日本、大阪・関西にこういう施設ができるということであれば、やはり日本ならではの、大阪ならではの、関西ならではの世界から注目されるそういう施設に育ってほしいし、また、様々な厳しい意見も、たとえネガティブなものであっても、きっとそこに新しいビジネスへの一つのヒントみたいなものがあるのではないかと前向きに受け止めていただいて、一緒にいい方向で、みんなが喜んでくれる施設に育ってほしいと願っております。

取りあえず、以上です。

○溝畑座長 ありがとうございます。

それでは、樋口委員より、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○樋口委員 事業者が選定されたということで、本日、選定の経緯等の資料もお見せいただきましてありがとうございます。

本日、配付いただいた参考資料に、事業者を選定された委員の附帯意見が記載されております。委員の方々が、将来に向けて努めてほしいことや、あるいは期待することが書かれております。そういった点で、私も推進会議という立場の委員ではありますが、この附帯意見に記載されている意見を、今後将来にわたって深く受け止めて、事業者の方々、府市の関係者の方々、あるいはそのほかの関係者の方々も、進めていただくということを強く期待しております。

また、私は、前職が大阪府警察本部長という立場にいましたので、8ページの治安・地域風俗環境対策、危機管理等について、非常に重要なこととして「関係機関との連携につい

て考え方が示されている点が評価できる」と選定委員の方々が言われております。大阪府警察、消防、あるいは民間の関係者の方々と連携を密にさせていただき、また、ギャンブル依存症対策等については、かなり具体的な中身に突っ込んだ施策が具体化し、どういったことをどのように進めるかということがかなり深く掘り下げられてきたと承知しておりますが、その他の懸念される事項につきましても、関係機関等と連携させていただき、何をどのように進めていくのかということ、できるだけ早く具体的な形で示していただくことを強く期待したいと思います。

以上です。

○溝畑座長 樋口委員、ありがとうございました。

それでは、宮城委員より、質問、意見等ございましたらよろしく申し上げます。

○宮城委員 大阪商工会議所の宮城でございます。

事業者からの提案でございますけれども、私どもが懸念していた2つの点がクリアをされており、非常に高く評価をしております。

1つは、開業当初、段階的な施設整備になるのではないかとということがあって、I Rの整備というもののモメンタム、爆発力というものが、開業当初に小さくなってしまわないかということ、これを少し心配しておりました。提案の中で、当初投資額が1兆円を超える金額で、当初から世界水準規模での開業だという点、これは非常に評価しております。

2つ目は、このI Rが成長型のI Rであるという点がきちんと位置づけられている。施設の整備などについて、成長・発展するI Rモデルが位置づけられておりまして、私どもとして評価をしております。

したがって、計画申請に向けて準備をしっかりと進めていただいて、I Rの誘致を勝ち取るということ、ぜひ実現していただきたいと思っております。

それを考えたときに、幾つか課題があると思っております。

1点目は、M I C Eであります。

I Rで世界レベルのM I C Eを実現するためには、かなり前から準備をしていかないといけません。I R事業者だけではなくて、自治体、経済界がしっかりとM I C Eを誘致するというのを相当前から働きかけて、公民連携の下で準備をする必要があるというのが1点あります。

2点目は、I Rだけでいろんな方が来るわけではないと思っております。

やはり、大阪が魅力ある地域である必要がある。I Rに来ていただいた方が大阪にどんど

ん出て行ってもらって、大阪を楽しんでもらう、そのための大阪としての都市魅力の向上というのは、まだ開業まで、少し時間もありますので、大阪の都市魅力を高めるプランなり実行なりをしっかりとさせていただきたいなということでございます。

このためには、私ども経済団体の一翼を担う会議所としても、しっかりといろいろな事業や計画づくり、あるいはまちづくりなどについても協力・努力していきたいと思っております。

最後は、先ほど樋口委員も言われました、評価点としては他の項目に比べて、少し点数が低かったのが気になる「ギャンブル依存症対策」をはじめ、「治安対策」「感染症対策」といった懸念事項対策についても、府と市と事業者の間でしっかりと連携・協力をして、大阪モデルと言われるトップランナー方式をしっかりと準備して、大阪IRの開業時には世界最高水準の懸念事項対策が取れているんだということを示していただければと思っております。

私からは以上でございます。

○溝畑座長 ありがとうございます。

今のご意見のうち、MICEについて、これからの大阪が、どうあるべきかというところと、大阪の都市魅力をどうするのか、というところについては、私が理事長を務めております大阪観光局の業務でございます。このあたりの取組について、少しご紹介しておきたいと思えます。

1点目のMICEにつきましては、大阪府市、関西経済同友会、関西経済連合会、大阪商工会議所の皆さんをメンバーとしてMICE推進会議をつくりまして、万博、IR開業を見据えて、オール大阪でどのようなMICEの推進体制をつくるべきかという議論を重ねております。

今後、IR誘致が正式に決まっていく過程で、IR事業者も一緒になって、オール大阪でしっかりと誘致していくという体制をつくっていききたいと思っております。

また、今年度、大阪府の予算で、今後の大阪のMICEはどうあるべきかという調査事業を実施することになっております。今後、調査結果を踏まえて、今、宮城委員がおっしゃったオール大阪で、MICEの「M」・「I」・「C」を、どのようなターゲットで、どのように誘致していくのか、それらを取り組むための体制をしっかりとつくっていききたいと思っております。

もう1つの大阪の都市魅力をどう高めるかという点につきましては、宮城委員のおっしゃるとおりでございます。コロナ禍で、インバウンドだけではなく国内観光において、大阪はどのような個性を出していくかということにつきまして、今年度、大阪商工会議所さんと、

それからUSJさんと一緒にマーケティング調査を行っております。大阪のあるべき姿を皆さんに提案していきたいと思っておりますので、こういうものも活かしていきたいと考えております。

3点目につきまして、依存症と治安対策について、事務局のほうからお願いします。

○坂本局長 いろいろご意見いただきまして大変ありがとうございます。

池田委員からは、特にIRを日本・大阪ならではのものにとお話いただきましたので、まさに私どもにしましても、世界と競争できるIR、またそこには日本らしさというのも活かしつつ、大阪・関西ならではの工夫も凝らしながら、IRを実現してまいりたいと考えております。

それから、樋口委員、宮城委員から、懸念事項についての具体化などについて、ご意見いただきましたけれども、これは、事業者から一定、それぞれIRエリアでどのような取組みをしていくのかということについて、示されている部分もございます。加えて、この懸念事項対策は、府市も含めた行政がどのように関わっていくのか、事業者の対策と行政の施策、これらをミックスさせて、まさに大阪モデルを実現していく必要があると考えております。

したがいまして、このあたりにつきましては、現在、関係機関と大阪府警、消防を含め、また、依存症を所管する健康セクションなどとも、行政的にも検討を進めているところですので、行政の施策、それから事業者の施策が相まったものを区域整備計画の中でしっかりと示していきたいと考えてございます。

○溝畑座長 それでは、井上委員より、ご意見、ご質問をお願いします。

○井上委員 ありがとうございます。

まず、事業者からきっちりとした提案が提出され、それを選定委員会で細かく確認され、その結果として、きっちりと選定されたということで、ほっとしております。先ほどほかの委員からもご指摘がありましたとおりコロナ禍など予想外のことがありましたので、規模が縮小するのではないかと心配をしておりましたが、世界的に誇れるIRができるのではないかと思います。そしてこれが大阪でできることが大事だと思います。大阪をイメージしたコンセプトである「結びの水都」というテーマに沿ってこのIRがしっかりと出来上がっていくことを期待しております。

一方、カジノのことが懸念されています。ただ、カジノだけに目を向けるのではなく、MICE施設や魅力増進施設、送客施設など、本当に様々なものがありますので、それらを全てまとまった形で、よりよいものを作りたいと期待しておりますし、日本が元気に

なる中心にこの大阪がなれるように、またその核がこの I R 施設であればよいと期待しております。

また皆さんご理解のとおり、これはあくまで事業者からの提案であり、しかも、現時点のものであります。現段階でよいものであっても未来に向かってはまだまだ I T ・ A I を含めてどんどん変わっていきますので、この提案を基礎にしながら、さらによりよいもの、依存症対策も含めてのものになると思いますが、大阪府市がきっちりと連携を取ってつくっていただくことが今後大事になりますし、実際に開業するときには、さらに数段レベルの高いものができていることを期待しております。

簡単ですが、以上です。

○溝畑座長 それでは、関西経済連合会より、ご意見いただきたいと思えます。

○徳田委員 代理で失礼いたします。関経連の徳田でございます。よろしくお願いいたします。

提案内容につきましては、委員の皆様からご意見ございましたとおり、非常に全体的にバランスの取れた提案があり、それに対して選定委員会の委員方からも、非常に綿密な審査講評がなされているということで、私どもも非常に意義深いものだと思っております。

その中で、特に強調させていただきたいところが 1 点ございます。

それは、この I R ができる夢洲のまちづくり全体との整合性ということでございます。

夢洲は、スマートシティとリゾートシティの 2 つの機能を有する都市として、整備されることになっております。I R は、リゾートシティ機能としての役割に加えて、2025 年の大阪・関西万博後の 2 期開発を含む夢洲全体との連携を意識したスマートシティとしての機能も形成していくことが必要と思っております。

具体的な機能につきましては、参考資料 1 「審査講評」の 7 ページに「スマートなまちづくり」と記述がございますので、私から詳細に申し上げませんが、例えば、夢洲への来訪者に対する利便性の高いサービスの提供であるとか、国内最高水準の環境都市の実現であるとか、そういったところで、より具体化を図って、夢洲全体の中で、I R が位置づけられていく、またその整合性を取っていくといったところを、ぜひ強調させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○溝畑座長 ありがとうございます。

それでは、関西経済同友会からお願いいたします。

○與口委員 関西経済同友会の與口でございます。代理で失礼します。

提案内容を拝見いたしまして、非常に素晴らしい提案だと2つの意味で思っています。

1つが、経済を成長させるエンジンとして素晴らしいこと、もう1つ、池田委員がおっしゃいましたが、課題も当然あるわけですが、その課題が課題として、ちゃんと認識されていること、これが大事なことだと思っています。課題があることは、問題なのですが、これこそビジネスで一つ乗り越えようという大きな力になりますので、これをポジティブに捉えていくという姿勢は、すごく大事なことだと先ほど共感いたしました。

特に、コンセプトも「結びの水都」ということで、物流と金融で発展してきた大阪の歴史に根差していて、ここも素晴らしいものだと思っています。

この“結ぶ“ということになりますと、やはり、MICEが活動としてすごく重要になってきます。MICEにつきましては、この提案の中にも誘致ということを強調されていますが、そこにもう一つ、MICEを招致するという観点に加え、創出、創り出すということも一つ、これからの大事な点じゃないかと思っております。

以前もこの場で廣瀬が申し上げたのですが、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く」、この理念を体現すべく、人類共通の課題克服を目指したMICEを大阪で継続的に開催していく、世界に発信していくべきだと考えております。

この点、家電の見本市、CESや、サウス・バイ・サウスウエストなどの世界規模のイベントも、最初は小さなところから成長していく、10年近くかかって成長していったわけですが、それぐらいのスパンで見て、会議をつくっていくという姿勢も、これからここに加えてくれる、そんな意欲的な提案だと思っています。ありがとうございます。

○溝畑座長 ありがとうございます。

それでは、私のほうからも一言申し上げます。まずこの提案をつくる過程で、コロナ禍の大変厳しい経営環境の中で、事業者の皆様が、大変苦勞をされて作り上げていただいた。また、大阪府市の皆さんも、大変この厳しい経済環境の中、非常に厳しいタフな交渉の中、作り上げていただいたことに、深く敬意を表したいと思います。

また、IR推進会議は、本日で13回目でございますけれども、皆さんからいただいた意見は、ほぼ概ね、この提案の中に盛り込まれていると思っております。世界水準のオールインワンMICE、それから魅力増進、日本観光のゲートウェイ、さらにはこの利用者の高度化・多様化に対応した施設、オンリーワンのエンターテイメント、この5つそれぞれ、会議に出た意見はほぼ網羅されていると思っております。

I Rに関して、私も色々な説明会に行きますと、非常に皆さんの空気が変わってきたなと思うのは、皆さんのご努力で、I Rそのものを否定する人というよりは、I Rを通して、どのようにメリットを最大化させていくのか、そういう方のご意見が非常に強まってきていると思っております。新しい産業が産まれる、新しい雇用が生まれる、そして何よりもコロナ禍の明るい未来の展望の出口になる、起爆剤になり得るということについて、皆さんの心が一つになっているということを実感いたしております。

これによって、目標であります世界最高水準の国際観光都市の実現に向けての弾みがつくということに、我々の力を結集して、このプロジェクトをみんなで応援していきたいと思っております。

様々な意見が出ておりまして、本当に皆様が様々な立場からご意見いただいておりますことを感謝申し上げたいと思います。

提案については公正かつ中立にしっかり審査が行われ、ここに至ったと言えようかと思えます。

それでは、いろいろな意見が出たことにつきまして、事務局のほうから、ご意見ございましたら追加でお願いしたいと思えます。

○坂本局長 ご意見ありがとうございます。

井上委員からは、特にI T・A Iを使って、未来に向かって、というお話もいただきました。まさに、我々は成長型I Rということコンセプトにしておりますので、その時代時代の最先端のI Rになるように、しっかりと新しいものを取り入れながら、魅力あふれるI Rの実現に向け、取り組んでいきたいと思っております。

また、関経連さんから、スマートシティについて、ご意見いただきましたけれども、まさに、夢洲まちづくり構想の中でI Rを位置づけていますが、2期、3期等を含めて、国際観光拠点形成していこうという大きなプランがございますので、トータルとして、この大阪の魅力向上に向けて、しっかり取り組みたいと思っております。また、その中では、スマートなまちづくりというの、様々な内容について、今回、事業者からも提案が出てきておりますので、それらを実現できるように取り組んでいきたいと思えます。

また、同友会さんからも、特にM I C Eについてのお話ございました。先ほど溝畑座長からもご意見がありましたけれども、M I C E委員会なり、また、今後、大阪府で調査も予定しているものがございますので、これらを通して、どのような戦略を描いていくか、ここをしっかりと描いて、取り組んでいきたいと考えております。

本当に様々なご意見頂戴いたしまして、ありがとうございます。

○溝畑座長 ありがとうございます。

ほぼ、これでご意見、質問が出たと思いますが、最後に全体を通して何かご意見、質問など、ございますでしょうか。

特にないようでございますので、本日出ました意見につきましては、事務局において整理をお願いします。

それでは、事務局に進行をお返しします。

○那須課長 溝畑座長、委員の皆様におかれましては、議事進行と活発なご議論をいただきまして、誠にありがとうございました。

それでは、これをもちまして第13回 I R 推進会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉 会 午後 2 時09分